

「職場のリアルな実態から選挙を考える」⑨ ブラック企業に勤めていたKさん

現

在は国会などで志位委員長が盛んにブラック企業を追求していますが、私がブラック企業に勤めていた頃は、中小企業のワンマン社長だった事もあり、ブラックな状況が当たり前になっていました。

IT関係業務でしたので昼夜の別なく仕事があり、夜は機械の不具合対応や保守、昼は事務や経理関係などの仕事に追われ、酷いときには夜勤が終わる朝六時から日勤が勤務を始める一〇時までが唯一の仮眠・休憩時間であり、もちろん残業代などもありませんでした。この時に日本共産党に相談出来たらと今でも悔やまれます。

現

在ブラック企業に勤めている若者たちや自分が働いている所がブラック企業ではないかと悩んでいる青年たちに自分一人だけで悩む必要が無い、力を貸してくれる人、団体があるんだ困った時には日本共産党が手をさしのべてくれると伝えたいと思います。

今は選挙期間でもあります、労働問題以外にも多数の問題がありますので是非選挙には行き、一緒に新しい未来へ進みましょう！

